

日進月歩

VOL. 111

発行 日進塾

あなた自身に問いかけてください!

大切なことを忘れないために

私はしっかりと目標を持っているだろうか?

目標が毎日の生活をまな、努力すべきことを教えてくれる。

私は自分の気持ちをこまかにしていないだろうか?

自分の気持ちに正直にならなければ大きな希望は抱けない。

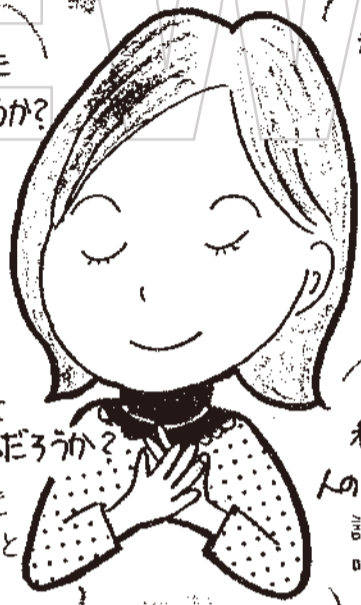
私はなすべきことを先延ばしにしていないだろうか?

今日やるべきことを明日にしようとする明日もやらない。

私は自分の失敗を人のせいにしていないだろうか?

誰かが悪い誰も何もしてくれないと嘆いても何も変わらない。

当教室はスタッフ全員であなたを全力で応援します。



塾長からのメッセージ

あなたはあなたのことが好きですか?人は自分のことが嫌いになる時、自分の将来に不安を感じ自信をなくしてしまいます。

この世界にあなたという人はたった一人しかいません。あなたがあなたのことを嫌いになるということは、この世界にたった一人しかいない大切な一人の自分を嫌いになるということです。

どんな時でも、あなたはあなたのことが大好きでいてください。

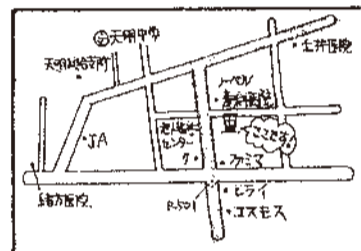
もちろん、完璧な人間なんていませんから、あなたにも欠点はあるでしょう。その欠点をすべて抱えてあなたはあなたのことが大好きになってください。

あなたがあなたのことを大好きになること、そこからあなたは大きく成長し、多くの人に愛される人になります。自分を大切にできない人は他人を大切にすることができません。

夢と希望を胸をいっぱいにして、あなたはあなたのことが大好きになってください。



この世界に
あなたはあなた
一人しかいない!



熊本市南区銭塘町2136-8

日進塾

096(223)3151

HP <http://www.nisshinjuku.com/>

雪と日本人の暮らし

国土の半分に雪が降る日本。雪は日本の冬の風物詩です。しかし、雪は長い年月にわたり、北日本の人々の冬の暮らしを大きく制限してきました。

雪の降らない地域に住む人たちの中でも近年の異常気象で大雪を経験した人はいらっしゃるのではないのでしょうか。雪と日本人の暮らしについて少しの間考えてみませんか?

雪と日本人の感性

日本人は雪の降る様子に美しい名前や言葉を与えてきました。たとえば、初めて降る雪は「初雪」、最後の雪は「終雪」、春先に名残を惜しむように降る雪は「名残雪」、また、粉のように細やかな雪のことを「粉雪」と呼びます。

日本は豪雪国

実はもともと日本は世界的にあまり類のない豪雪国です。雪は雪国の人にとって、美しい! 楽しいだけでは済まされない、お金も手間もかかり命の危険もある、まさに厄介者です。

雪には可能性が?

雪国の人にとっての厄介者である雪。でも、雪に対する見方がこの10数年ほどの間に変わってきました。雪冷熱を利用したエコハウスや工場、雪室で熟成させた食材など、新たな産業や市場が生まれつつあります。

日本人の暮らしと雪の密接な関係を知ろう!

